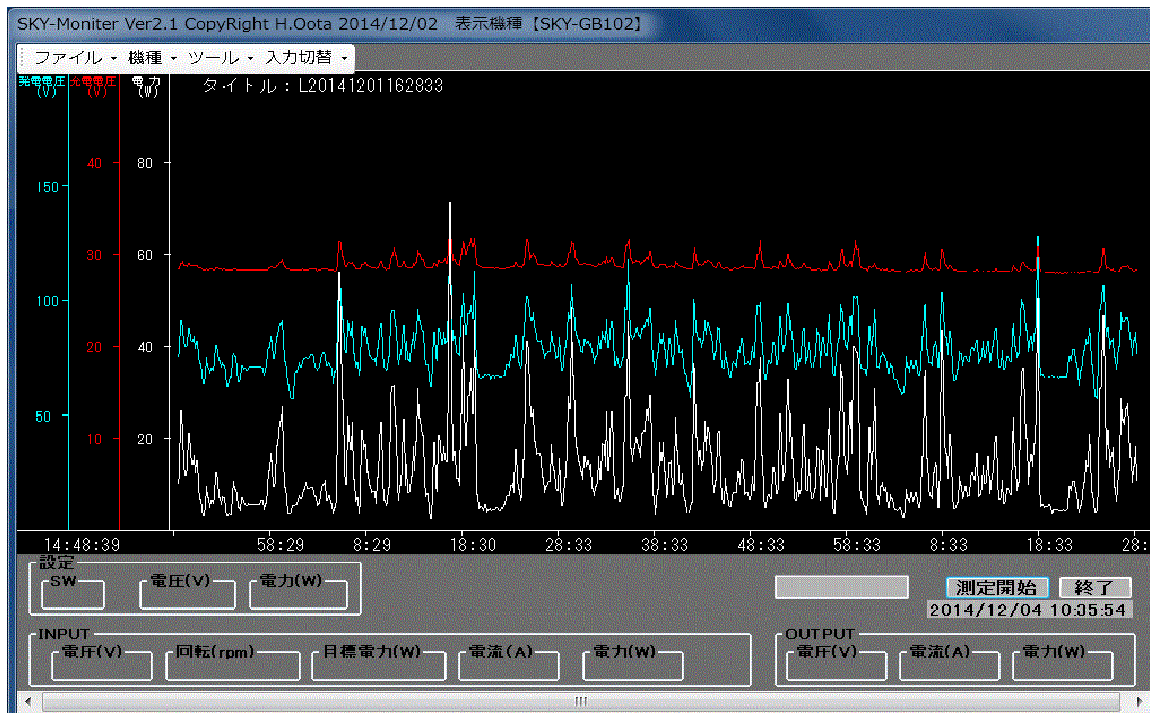


# 納入仕様書

品番	製品名
SKY-Monitor	モニタープログラム

Windows7 用 フリーソフトとして公開します  
ダウンロードしてご自由に御使用下さい

但し、サポートや質問にはお答え致しません  
又、使用した結果についても責任を負いません



株式会社スカイ電子

## 1. 概要

SKY-Monitor は当社の装置の遠隔表示などに利用するプログラムです、この装置の立ち上げにはマイコン関係の若干の知識が必要となります  
リアルタイムに機器の運転状態がモニターできデータロガー機能も内蔵していますから手軽に使用頂けます

### RS232Cからの入力

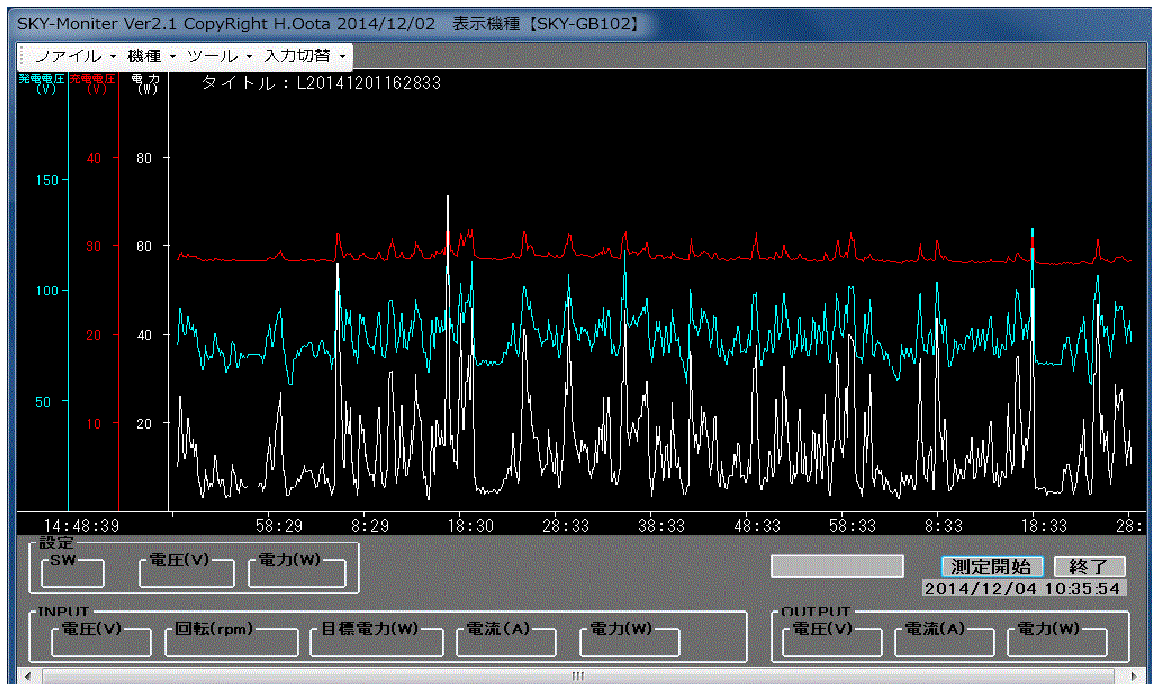
- (1) 機器側のRS232C端子とパソコンのRS232Cに直接接続
- (2) 機器側のRS232C端子と接続された透過モード無線LANとパソコンのRS232Cとの接続  
無線LAN(SKY-ZB)のペアリングの条件はコーディネーター側の電源が最初に入る必要があります  
機器側は遠距離であるため無線LANの電源の操作が不可能です、従って操作不能の機器側をコーディネーターとし、ルーター側をパソコンに接続します、接続する機器の性格によって接続方法が違いますから注意願います。
- (3) 機器側のRS232C端子と接続されたアドホックWIFI無線LANとパソコンのRS232Cとの接続  
SKY-WL-AdHoc Joiner(アドホック. ジョイナー)を機器側に接続し、SKY-WL-AdHoc Creator(アドホック. クリエーター)を端末側に使用します。

### UDP/IP ネットワークからの入力 (WIFI無線LAN経由)

- (1) ローカルエリアネットワーク上の UDP/IP信号接続  
WIFI無線LANインフラストラクチャモードでアクセスポイントに接続し、複数の機器と通信する用途向け
- (2) インターネット上の UDP/IP信号接続  
WIFI無線LANインフラストラクチャモードでアクセスポイントに接続し、WEBルーターでインターネット上に公開されたデータにアクセスし表示します。

強力な機能を持った自然エネルギー機器用無線LAN装置は弊社製各種無線LAN機器を使ってください。

## 2. 起動画面



## 2. 運転手順

主な操作は最下部の表示ボックスで行います



### (1) 接続(運転開始)

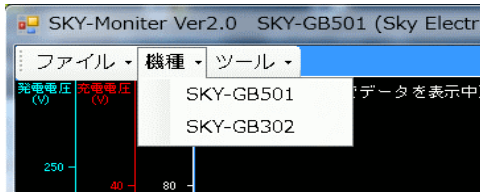
このボタンを押すと通信を開始して、データのモニタ表示を開始します  
自動設定となっています、約20秒程沈黙した後、測定を自動開始します

- (2) ZigBeeボタンは弊社無線LANの自動ペアリングを実行します  
通常は操作する必要はありません、手動ペアリングボタンです

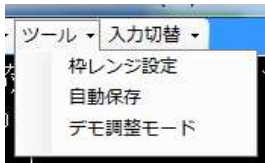
(3)測定中ボタン  
このボタンを押すと表示をクリアして現時点から測定を開始開始します

(4)終了ボタン  
設定状態を記憶して、このプログラムを終了します

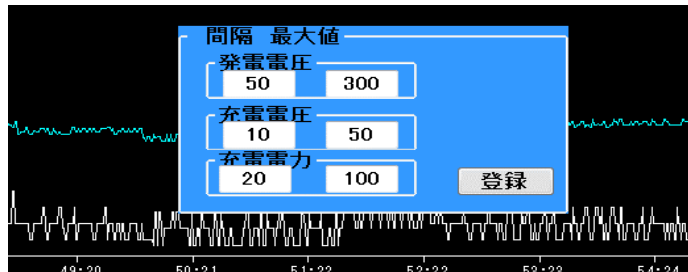
### 3、機種設定



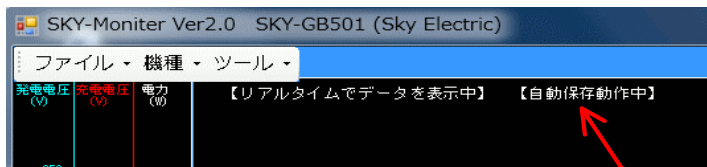
### 4. ツールメニューの設定



(1)表示枠のレンジを設定します



(2)自動保存モード  
測定データを自動的にパソコンに保存させるコマンドです



自動保存動作中メッセージ出現

実際には右に示すようなデータで自動的に保存いたします。  
文字や時間や小数点を含んだ数字が混在した状態で拡張子CSVで書き込みます

ワードパッド等ではファイルを壊すことなく閲覧ができます  
エクセル等で表示するには、加工が必要です但し楽に加工出来ます。

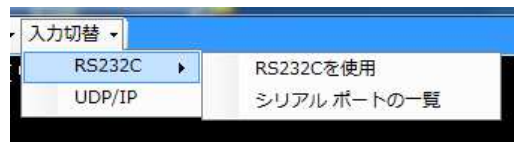
このデータを直接加工したら再読み込でプログラムが固まってしまうから別の場所に移動して作業して下さい

```
"機種","SKY-GB501"  
"タイトル:L20140808154316"  
"X","Y1","Y2","Y3"  
"60","50","10","100"  
"600","300","40","500"  
"時間","発電電圧","充電電圧","充電電力"  
"(hh/mm/ss)","(V)","(V)","(W)"  
"15:43:24",79,31.1,9  
"15:43:25",79,31.1,9  
"15:43:26",79,31.1,9  
"15:43:27",79,31.1,9  
"15:43:28",79,31.1,9  
"15:43:29",79,31.1,6  
"15:43:30",79,31.1,6  
"15:43:31",79,31.1,6
```

## 5、入力切替

### (1)RS232Cを使用

ここをクリックしたらRS232Cでデータを受取るモードです



### (2)シリアルポートの一覧

パソコンに接続されているシリアルポートを選択します  
自動的にシリアルポートを設定します

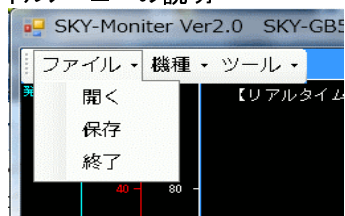


### (3)UDP/IP 接続

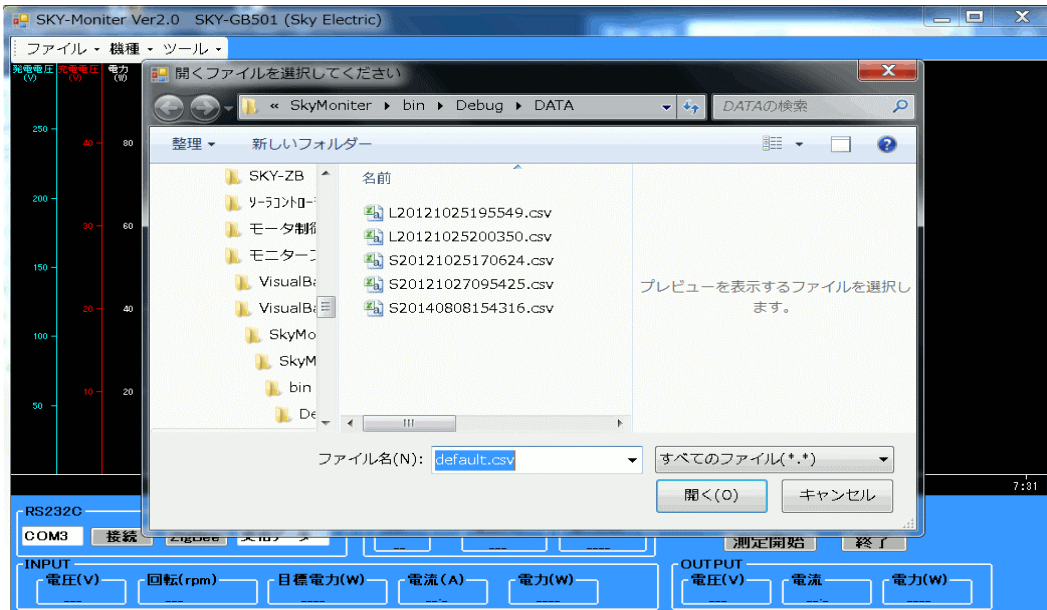
ローカルエリアネットワークやインターネット上のUDP/IPのデータを表示します



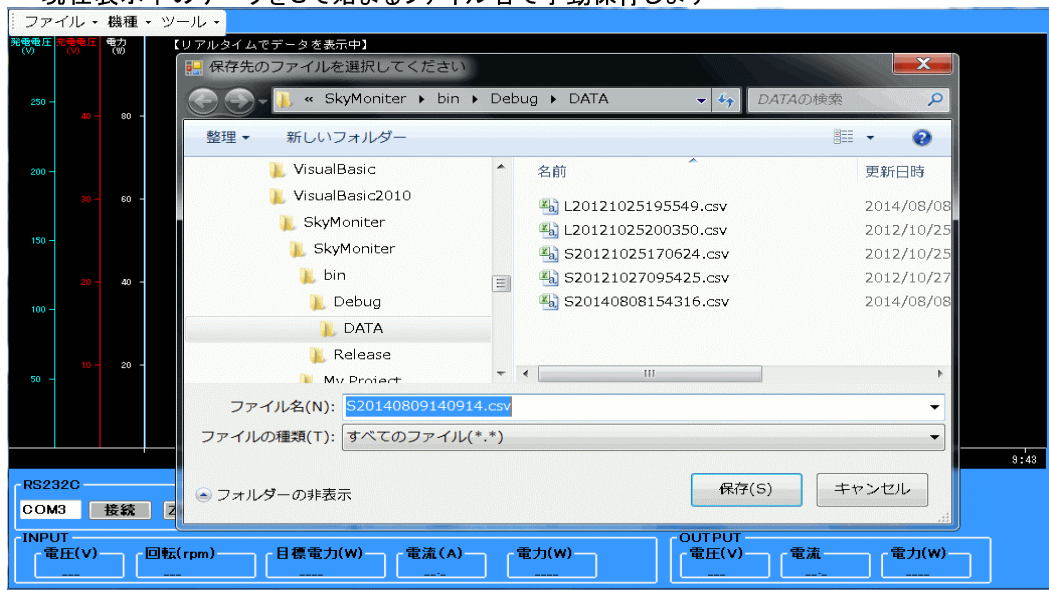
## 6、ファイルメニューの説明



- (1)記憶しているデータを選んで表示します  
 Lで始まるファイル名は自動保存されたデータです  
 Sで始まるファイル名は手動保存したデータです



- (2)手動保存コマンドです  
 現在表示中のデータをSで始まるファイル名で手動保存します



## 7、隠しコマンドについて

- (1)無線モデム対応コマンド有無の自動判定を致します  
 古いタイプのSKY-GB501等は無線モデム対応動作としていました、新しいタイプは無線LAN対応に改良されます、いずれも自動判断し同じ動作が保障されます。
- (2)風速計データ有無の自動判定を致します  
 SKY-GB501等は特注で風速計のデータも通信に加えることができます  
 風速計のデータの有無を自動判定しデータがあれば風速データも追加表示されます。

## 8、注意事項その他

- (1) 保存データは インストールされたディレクトリの下層のDATAディレクトリの中に入っています  
このデータを使用する場合はユーザーが特別に作成した編集用ディレクトリに移動又はコピーして  
からエクセル等のCSVファイルが使えるプログラムをお願いします  
この場所にあるデータを直接編集しますとプログラムの動作がおかしくなります  
運悪く編集してしまったら、そのファイルを削除したら動作異常はなくなります
- (2) データを自動保存にすると  
巨大なデータをパソコンのハードディスクに書き込みます、データローガーとしての使用が終了したら  
そのデータは全て削除することをお勧めします
- (3) RS232C端子の無いパソコンについて  
市販のレベルコンバータ内蔵のシリアルUSB変換ケーブルを購入しパソコンにドライバーをインストールして  
使用して下さいパソコンの種類によってはケーブルとの相性が悪くて使用出来ないものも多いですからパソ  
コンショップ等で動作に問題のない物を選んで下さい
- (4) 旧バージョンのSKY-Monitorの廃止について  
旧バージョンは Windows Xp まで使用可能ですが、Windows7以降はMicroSoft社の方針で悪意のある  
プログラムに関してMsComが使用できなくなっています。従って弊社もMsComを使用した旧バージョンは  
サポートをせず、廃止と致しました